

日本人大学生・大学院生対象
対日理解促進交流プログラム「JENESYS2025」国際交流事業
日本・ミャンマー「日本語・日本文化」オンライン交流
参加者募集！！

2025 年 7 月

一般財団法人 日本国際協力センター

一般財団法人日本国際協力センター（JICE）では、対日理解促進交流プログラム「JENESYS」（対象国：ASEAN 諸国および東ティモール）の実施団体として青少年交流事業を企画・運営しています。この度、ミャンマーとの国際交流プログラムに参加いただける大学生・大学院生を募集します。

I. プログラム概要

1. 事業概要、目的

(1) 概要

対日理解促進交流プログラムは、日本政府（外務省）が推進する人的交流事業であり、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣又はオンライン交流を行うものです。

また、JENESYS2025 オンライン交流事業は、対日理解促進交流プログラムのうち、アジア大洋州の各国・地域を対象とした事業です。JICE は、本事業の一環として、日本とミャンマーとの間において、日本語・日本文化をテーマにオンライン交流を実施します。

(2) 目的

日本と ASEAN 諸国との間で、対外発信力を有し、かつ将来を担う人材がオンライン上で交流し、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、日本への関心・理解・支持を拡大し、また、日本の外交姿勢や魅力等について、本事業参加者から積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目的としています。

2. 交流国・応募要件等

(1) 交流国、テーマ、対象者、人数、実施日程

交流国	テーマ	プレ①日程	プレ②日程	本プログラム開始日	本プログラム終了日
	対象者・募集人数				
ミャンマー	日本語・日本文化交流	2025/9/上旬	2025/10/中旬	2025/11/18	2025/11/25
	ミャンマーに関心があり、日本語・日本文化の魅力を効果的にミャンマーの交流者へ伝えることができる大学生・大学院生 20 名程度				

※ミャンマー人参加学生については、別途ミャンマー国内で公募します。

(2) 標準日程（詳細は別紙 3 参照） ※日程は多少変更になる場合があります

- ・ プレプログラム（各 2 時間～3 時間程度を予定）
- ・ 本プログラム（各 2 時間～3 時間程度を予定）

プレプログラム（オンライン・対面）			
1 回目	2025/9/上旬	オンライン	ミャンマー理解講義
2 回目	2025/10/中旬	対面実施	ミャンマー人訪日者との交流等
本プログラム（オンライン）			
1 日目	2025/11/18（火）	オリエンテーション、バーチャルホームツアー等	
2 日目	2025/11/19（水）	ミャンマー人学生との交流	
3 日目	2025/11/20（木）	ミャンマー人学生との交流	
4 日目	2025/11/21（金）	ワークショップ	
5 日目	2025/11/25（火）	報告会	

※プログラム内容や日程については、変更が生じる可能性があります。

※全てのプログラムに参加した方には「修了証」をお渡しします。

(3) 実施方法

プレプログラム 1 回目、本プログラム：オンラインツール「Zoom」使用

プレプログラム 2 回目：対面実施（実施場所未定）

(4) 参加者必須課題

以下の事前準備、プログラム中の活動、事後活動は全て参加者の必須課題です。

①事前準備

- ・ ミャンマー（歴史、文化、社会、政治、経済、宗教、民族等）についての事前学習
- ・ 日本（政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等）や在住地域についての事前学習
- ・ 日本紹介プレゼンテーションや実演を行う準備
- ・ プレプログラムの参加
- ・ プレプログラム参加後リアクションペーパーの回答
- ・ 事前学習に関する SNS 等での発信

②本プログラム中の活動

- ・ 日本の魅力についてのプレゼンテーションおよび実演やバーチャルホームツアーの実施
※学生交流等の際、ミャンマーの学生に日本に興味・関心を持ってもらえるよう、テーマに関する日本の魅力を、パワーポイントを用いたプレゼンテーションや実演で紹介する。（プレゼンテーション・実演を合わせて、1 時間～1 時間半程度で実施）
※バーチャルホームツアーでは、日本・ミャンマーの参加者がお互いのご自宅を紹介し合います。
- ・ プログラム中の体験や日本の魅力を英語や各国言語を使用し、SNS 等で発信
- ・ 毎日の「気づき」の記録
- ・ ワークショップの実施（プログラム中の気づきの共有とアクション・プラン※の作成、報告会準備）
- ・ 報告会の実施（気づきおよびアクション・プラン※の発表）
※アクション・プランとは、プログラム中の学び・経験をもとに、プログラム実施後、参加者各々が日本とミャンマーとの関係継続・向上に資する活動を行う計画のこと。

③事後活動（本プログラム終了後）

- ・ プログラム報告書の提出（本プログラム終了後 1 週間以内に提出）
- ・ プログラム終了 3 ヶ月後アンケートの回答
- ・ アクション・プラン実施報告書の提出（終了後 3 ヶ月以内に実施）

（アクション・プラン実施例）

- ・ 来日する招へい者との交流を実施
- ・ 高校・付属中学・大学、在住地域等での報告会実施
- ・ 新聞や広報誌へ参加経験、日本・ミャンマーの友好・関係向上に資する展望を寄稿
- ・ 日本の文化や生活（日本への留学・就職情報含む）を英語・現地語で定期的に発信
- ・ 日本語レッスンの開催（オンラインや対面にて）
- ・ 日本料理クラスの開催（オンラインや対面にて）
- ・ オンラインジャパンツアーの開催（日本や在住地域の紹介）
- ・ 日本とミャンマーの相互理解のための文化行事の開催 等

（5）参加者条件

以下項目を全て満たしている者が参加対象者となります。本事業は、**個人単位及びグループ単位**での受付とします。

- ① プログラム参加時に正規過程に在籍する大学生・大学院生※1。
- ② 本事業の趣旨・目的を理解した上で、事前準備、プログラム中の活動、事後活動を確実にこなせる者（35 歳以下）。
- ③ 日本国籍を有する者。
- ④ プレプログラム等及び本プログラムのすべての日程に参加できること。
- ⑤ 日本政府の実施または推進する派遣事業※2 において参加経験がない者。ただしオンラインプログラム参加者は可。
- ⑥ SNS での対外発信ができる程度の英語力、または、ミャンマー語を学んでいる者。
- ⑦ ミャンマーに興味・関心・学ぶ意欲を有し、日本とミャンマーとの交流において積極的に友情を育める者。また、日本の魅力を積極的に伝え、プログラム前後においても SNS（ブログ、Instagram、Facebook、YouTube 等）を活用して積極的に情報発信ができる者。
- ⑧ 後述の「参加者の責任及び留意事項」、別紙 1 の「個人情報の取り扱い」に同意できる者。

※1 所属大学・大学院発行の在籍証明書をもって、在籍を確認します。

※2 海外渡航プログラム例：対日理解促進交流プログラム（JENESYS、カケハシ・プロジェクト、Juntos!!）、海外留学支援制度、トビタテ！留学 JAPAN（官民協働海外留学支援制度）、内閣府青年国際交流事業等

II. プログラム費用

無料

※ただし、インターネット接続費用、プレゼンテーションや実演に必要な資材等の費用は参加者負担となります。

III. 応募・選考方法

1. 応募方法

個人単位及びグループでの受付となります。グループ（例：大学のゼミ、サークル）単位での参加を希望される場合は、事前に「V. 問い合わせ先」のお問い合わせフォームまでご相談ください。ただし、個人とグループ両方での応募はできませんのでご注意ください。

(1) 応募締め切り： 2025 年 7 月 21 日 (月) 18:00

(2) 応募方法：

- ・ 以下の申し込みフォームのリンクから必要事項を入力し、送信してください。
申し込みフォーム：<https://jice.form.kintoneapp.com/public/aseanef-outbound2025>
- ・ フォーム上での入力時間が長時間に及ぶと応募が正常に送信されません。事前に別の場所で記述を準備してから記入を開始されることを推奨します。
- ・ 以下の応募時提出書類については上記サイト内からアップロードしてご提出ください。
※ 応募時提出書類に不備がある場合、審査対象外となります。
※ 「在籍証明書」については、参加が決定次第取り付けの上、ご提出をお願いします。応募時には必要ありませんのでご注意ください。
※ 各種提出書類は PDF または JPEG に加工し、応募フォームからアップロードしてください。
※ ご提出いただいた各種書類は返却しません。当課にて大切に保管します。

【応募時提出書類】

- ☐ 顔写真
- ☐ 大学生・大学院生オンライン交流同意書（別紙 2）
※ 派遣プログラムにも同時に応募する場合は派遣プログラムの募集要項にある誓約書をご提出ください。

【合格決定後提出】

- ☐ 在籍証明書

2. 選考方法

応募者多数の場合は応募書類にて選考します。

- ※ 応募書類の記載内容について、確認のため、電話またはメールで連絡をする場合があります。
- ※ 派遣プログラムにも応募される方については、派遣プログラムの選考方法に準じ、書類選考・面接を受ける流れへと変更になります（派遣プログラムの募集要項をご参照ください）。

3. 参加決定または選考結果通知

本事業に申し込みをした全ての応募者に対し、メールにて8月中旬を目途に通知します。

なお、応募者は、選定の理由については不問とし、選考結果については異議を申し立てることができません。

IV. 参加者の責任及び留意事項

参加者の皆様には、以下の事項についてあらかじめご理解・ご承知の上、プログラムにご参加いただきます。

1. 自己都合によるキャンセルについて
原則、参加決定後の自己都合によるキャンセルは認められません。
2. 参加資格の不備・規定違反について
応募内容に虚偽があった場合、または参加決定後に応募資格を満たさない事実が判明した場合、提出物の期限を遵守いただけない場合には、参加資格を取り消します。
3. 事前連絡義務について
プログラム開始前に連絡が取れない期間がある場合は、必ず事前に JICE 担当者へ緊急連絡先等をご連絡ください。
4. 授業との調整について
参加に伴い授業を欠席する場合の取扱いや単位認定等については、各自で所属機関（大学、大学院等）と事前に

ご相談の上ご判断ください。

V. 問い合わせ先

〒163-0716 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号 新宿第一生命ビルディング 16階

一般財団法人 日本国際協力センター 国際交流部青少年交流課

JENESYS 派遣・オンライン交流担当（平日 9:30～12:30、13:30～17:30）

※お申し込みに関するお問い合わせは[こちら](#)のお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

※選考内容に関するお問い合わせについてはお答えできかねますのでご了承ください。

※土日祝日にいただいたお問い合わせには翌営業日以降に対応いたします。

■ 一般財団法人日本国際協力センター（JICE）とは ■

一般財団法人日本国際協力センター(JICE)は、1977年の設立以来、主に開発途上国を対象とした国際協力事業に関する業務を行ってまいりました。現在は開発途上国を含む世界145カ国・地域と我が国との互惠関係の強化に資する事業を通じて、国際社会の発展に寄与することを目的とした事業を行っています。

主な事業は、外務省をはじめとする中央官庁、独立行政法人国際協力機構（JICA）、大学、地方自治体、公益法人、企業、国際機関および外国政府等の国際研修運営、国際交流、留学生受入支援、通訳派遣、日本語研修、コンベンション・セミナー、プロジェクト支援、開発教育支援事業です。

JICEでは329名の事務スタッフに加え、31言語に対応した1,086名の専門スタッフが、これまでの経験・知見を十分に活かして、各事業の案件形成、調査、研究、実施および評価を行っています。JICEは「知をつなぐ。世界をつなぐ。未来をつなぐ。」をキャッチフレーズに、心と言葉で「日本の技術・知識・経験」をつなぎ、世界の人々と、共に学びあい、理解を深めながら、各国の将来を担う人材育成に取り組んでいます。

参加者の皆様へ

一般財団法人日本国際協力センター
個人情報保護管理責任者（事務局長）

個人情報の取扱いについて

当センターでは、プライバシーマークを取得しており、個人情報の適切な取扱いを期しています。本プログラムにご参加いただく皆様には、下記の事項をご理解いただき、個人情報の当センターへの提供にご同意いただきますようお願い申し上げます。

皆様からお預かりした個人情報は、「当センターが実施する国際交流事業（プログラム参加後のフォローアップ事業含む）の実施・運営」に利用いたします。具体的な業務は以下のとおりです。

- (1) 国際交流事業にかかる参加調整
- (2) 旅行手続き（対面で実施するプログラムのみ）
- (3) 各種資料やアンケートの送付/回収
- (4) 緊急連絡
- (5) 事業実施報告書や広報媒体（ホームページ、年報、広報誌、SNS アカウント等）への写真・動画掲載
- (6) その他、当センターが実施する国際研修運営や留学生受入支援、国際交流、多文化共生、開発教育、コンベンション・センター等の事業に関する情報提供やご案内

当センターは、皆様からお預かりした個人情報を、国際交流事業（プログラム参加後のフォローアップ事業を含む）遂行の為に委託することがあります。

また、当センターは、国際交流事業を遂行する上で、下記に記載の条件で、皆様からお預かりした個人情報を書面による手交、郵送、FAX またはメール等にて提供する場合があります。なお、日本国外にてプログラム遂行の場合は当該国に提供する場合があります。外国にある第三者への提供に関する参考情報は下記のとおりです。

- ① 提供する個人情報項目：氏名、年齢、生年月日、性別、電話番号、メールアドレス、学校名、語学資格/経験、団体活動/国際交流事業/渡航経験、健康状態、パスポート、事業実施期間中に当センターまたは第三者が撮影をさせていただく写真・映像など
- ② 提供目的：実施運営上の参加者情報の共有、参加者の選考、アンケートの実施、JICE 事業関連資料の作成、事業実施後に当センターにて作成を行う実施報告書や当センター広報媒体（ホームページ、Facebook、インスタグラム、年報、広報誌等）、外務省広報媒体への掲載
- ③ 提供先：事業実施運営関係機関（外務省、在対象国日本大使館、現地関係機関等）、および実施運営関係者、旅行会社、講師、視察先の企業・団体・交流先の学校関係者、ホストファミリー、印刷関連業者、参加者間
・事業参加者を日本国外に派遣する場合の外国にある第三者への提供に関する参考情報
 - (1) 当該国の名称：ASEAN 諸国、東ティモール
 - (2) 当該国の個人情報保護に関する制度の情報
参照：個人情報保護委員会 URL
[諸外国・地域の法制度 | 個人情報保護委員会](#)
 - (3) 当該国の第三者が講じる個人情報保護のための措置に関しては、視察先企業・団体等が未確定で提供先が特定できないため、情報を提供できません。

当センターへの個人情報の提供は皆様の自由なご判断に任されます。ただし、個人情報の一部を提供していただかない場合は、国際交流事業（プログラム参加後のフォローアップ事業を含む）の募集選考・実施において適切な判断ができないことがあります。

皆様には、当センターに提出して頂いた個人情報について、利用目的の通知、個人情報の開示、訂正、項目の追加・削除、また個人情報自体の消去や利用停止、提供停止、第三者提供記録の開示を求める権利があります。自己の個人情報の開示等の請求をおこないたいときは、下記の問合先までご連絡ください。

（個人情報相談窓口） 一般財団法人日本国際協力センター 総務部 個人情報相談窓口

TEL：03-6838-2702（平日 9:30～12:30、13:30～17:30）/ E-mail：privacy@jice.org

（JENESYS2025 プログラムに関するお問合せ先） 一般財団法人日本国際協力センター 国際交流部 青少年交流課

派遣・オンライン交流担当窓口：03-6838-2730（平日 9:30～12:30、13:30～17:30）/ お問い合わせフォーム [こちら](#)

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2025」
日本・ミャンマーオンライン交流プログラム同意書

以下の各項目についてご確認いただき、ご同意いただける場合は各チェック欄に☑をご記入ください。

1. 参加者の責任及び留意事項への同意

- ☐ 募集要項に記載の「IV.参加者の責任及び留意事項」に同意します。

2. 個人情報の取り扱いについての同意

- ☐ 別紙1に記載の「個人情報の取り扱い」に同意します。

3. 事務手続きの協力についての同意

以下の事項に同意します。

- ☐ 事前準備、プログラム中の活動、事後活動には積極的に参加し、必要書類はJICEが定める期限内に提出します。
- ☐ プログラム開始前に連絡がつかない期間がある場合は、必ず事前にJICE担当者へその旨を報告します。

4. プログラム成果の活用及びプログラム後の協力についての同意

- ☐ 活動内容やアンケート結果等が報告書や広報資料に活用される可能性があることに同意します。個人が特定される形での情報公開は、事前承諾の上で行います。
- ☐ プログラム終了後、報告書やアンケートを提出します。また、JICEが実施する報告会等に可能な範囲で協力します。

2025 年 月 日

氏名

(印)

※必ずご捺印ください。



対日理解促進交流プログラム「JENESYS2025」
日本・ミャンマー 日本語・日本文化交流（日本人大学生・大学院生対象）
オンライン交流プログラム標準日程案



			プログラム	ねらい・内容
プレプログラム（計2日間、各日2時間～2時間半）				
1回目	9月頃 (オンライン)	2時間半	【オリエンテーション】初回オリエンテーション（JENESYS概要、参加者ミッションの説明他） 【講義】ミャンマー理解講義	JENESYSの概要、参加者ミッションを説明し、参加者としての自覚と意欲を高める。日本とミャンマーの関係、現在のミャンマーについて理解を深める。
2回目	10月頃 (対面)	2時間	【交流】来日するJENESYS参加者との交流または日本にあるASEANの大使館訪問等	交流を通じて日本の魅力を紹介すると共にミャンマーやASEANについて理解を深める。
オンライン本プログラム（計5日間）各日2時間～2時間半				
1日目	11/18 (火)	0.5時間	オリエンテーション（日程紹介、自己紹介等）	事業主旨・目的を再確認し、プログラム参加者としての自覚・意欲を高める。
		1時間	【視察】ホームビジット（日本、ミャンマー双方）	両国の参加学生宅をオンライン上でホームビジットし、両国の生活事情を学ぶ。
2日目	11/19 (水)	2時間半	【学生交流】① ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演 ・質疑応答 ・ミャンマー学生からのミャンマー紹介プレゼンテーション ・質疑応答 ・グループ交流 等	日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等について紹介プレゼンテーションと実演を行い、ミャンマーの同世代の学生が日本を理解し、日本の魅力を体感し、日本への関心を持つきっかけ作りを行う。また、ミャンマー学生からもミャンマーについてプレゼンテーションをしてもらい、相互理解を深める。両国の関心事項や今後の展望につき意見交換を行い、友情を育む機会とする。
3日目	11/20 (木)	2時間半	【学生交流】② ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演 ・質疑応答 ・ミャンマー学生からのミャンマー紹介プレゼンテーション ・質疑応答 ・グループ交流 等	
4日目	11/21 (金) 各自実施	2時間	【ワークショップ】報告会準備（渡航成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）	プログラム中の学びを共有し、アクション・プラン（プログラム参加後の活動案）について話し合いを行い、プログラム関係者に報告する内容をまとめる。
5日目	11/25 (火)	1時間	【報告会】プログラム成果・アクション・プラン発表	プログラム中の学び、アクション・プランについて、日本国大使館、交流関係者等へ報告する。

※プログラムの内容・日数等は変更が生じる可能性があります。